

第26回東北少年フェンシング大会開催要項

主催 東北フェンシング連盟
主管 秋田県フェンシング協会
後援 (公社) 日本フェンシング協会・能代市・秋田県高体連フェンシング部会
期日 平成28年3月26日(土)～27日(日)

26日(土)		27日(日)	
練習会場	9:00～試合終了	練習会場	8:00～試合終了
技術委員会	11:00～11:20	競技	9:00～14:00
監督会議	11:30～12:00	閉会式	14:30～15:00
開会式	12:10～12:30		
競技	13:00～17:30		

会場 二ツ井町総合体育館 秋田県能代市二ツ井町字上台60
TEL: 0185-73-6111 FAX: 0185-73-6800

種目 フルーレ個人戦

種別 小学校男子A(小学新5～6年)、小学校女子A(小学新5～6年)
小学校男子B(小学新3～4年)、小学校女子B(小学新3～4年)
小学校男子C(小学新1～2年)、小学校女子C(小学新1～2年)
中学校男子、中学校女子 ※人数により男女混合の場合があります

参加資格 1) 平成27年度事業であるが、小学生、中学生とも新学年でエントリーすること
2) 選手、監督とも日本フェンシング協会登録会員であること
3) 選手の保護者に承諾を得た者
4) 新4年生が5～6年の部に出場することは認める

表彰 1位～3位に賞状及び賞品を授与する他8位までに賞状授与する

参加申込 3月4日(金)までに参加料を下記銀行口座に振り込むとともに、別紙申込書に必要事項を記入の上、電子メールで下記宛申し込むこと(必着)なお、申込書の電子ファイルは、日本フェンシング協会HPよりダウンロードしてください

1) 参加料振込先銀行口座

北都(ホト)銀行 合川(アハ)支店 普通 1013418
秋田県フェンシング協会理事長 木村良彦

2) 参加申込書送信先

電子メール touhokufencing2526@yahoo.co.jp
秋田県フェンシング協会 金田浩樹 あて

3) 問合せ先

〒018-3331 秋田県北秋田市鷹巣字東中岱11番地 北秋田市スポーツ振興課内
秋田県フェンシング協会 金田浩樹 090-4049-5668

参加料 1人3,000円(申込後は返還しない)

宿泊 各自で手配してください

競技方法

- ・試合規則 国際フェンシング連盟試合規則（改正部分は、できる限り最新のものを）を準用する
なお、一部については、本大会ルールを適用する
- ・試合方法 プール戦とトーナメント方式の混合方式とする
 - 1) 1回戦は、1プール5～6人とし、全試合行う
 - 2) トーナメント進出は、参加選手50名を超えた種別について1回戦の結果上位70%とする
- ・組合せ
 - 1) プール戦は当年度全国（小学生・中学生）選手権大会のベスト8、前年度東北少年大会のベスト8のシード、同所属内シードを考慮する
 - 2) トーナメントは、1回戦の結果により、所属については一切考慮しない
※組み合わせは当日発表
- ・試合
 - 1) プール戦 3分間（実働）5本先取
 - 2) トーナメント 3分間（実働）2セットの10本先取
 - 3) トーナメント進出の人数は、参加人数により技術委員会が決定する

注意事項 規定のユニフォーム、プロテクター等を着用すること

（中学生）

- ・ユニフォーム上下350N以上
- ・F. I. E 公認マーク付き半袖付プロテクター800N
- ・F. I. E 公認マーク付きメタルビブ付マスク1600N
- ・中学生女子選手は金属製または固い材料でできている胸当てを両胸に着用すること

（小学生）

- ・ユニフォーム上下350N以上
- ・F. I. E 公認マーク付き半袖付プロテクター800N
- ・メタルビブなしマスクを着用
- ・小学生男女B・C（小学4年以下）は3号剣以下を使用すること

（共通）

- ・レオンポールマスクは2番目の安全ベルトを装着すること
- ・ストッキングは白色の膝の出ない長めのものを使用すること
- ・ゼッケンは、名前、所属を明瞭に書き、後ろ大腿部につけること

用具検査 事前の用具検査は行わない

審判員は、試合開始前にピスト上で選手のユニフォーム・プロテクター・マスク等の劣化やほころび等を確認する。その際、劣化やほころび等ルールに適合しない用具等がある場合には、罰則を適用し適正なものに交換しなければならない

障害保険 各所属において、選手全員が傷害保険に加入すること

その他

- 1) 中学生男女3位(4名)まで第2017年JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会カデ・フルール種目の出場権を得る
- 2) この大会は2016年度全国(小学生・中学生)フェンシング選手権大会の東北ブロック推薦の参考とする（東北ブロックの選手のみ）
- 3) 審判員が不足の場合、引率の指導者の中から審判員に依頼することがある